

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社インターロジサービス茨木	階数	地上4F 塔屋1F
建設地	大阪府茨木市東福井四丁目	構造	S造
用途地域	市街化調整地域、法22条地域	平均居住人員	人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,304 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年6月 予定	評価の実施日	2019年3月7日
敷地面積	26,412 m ²	作成者	(株)ハンシン建設
建築面積	3,175 m ²	確認日	2019年3月11日
延床面積	10,789 m ²	確認者	尾城 啓二



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%☆☆☆☆ 60%☆☆☆☆ 80%☆☆☆☆ 100%☆☆☆☆ 100%超:☆☆☆☆

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.3

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.5

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.5

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
・ 建物の熱負荷の抑制を図る為、下記仕様とした。 屋根: 二重葺断熱折板 外壁: 耐火化粧鋼板サンドイッチパネル	-	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
・ 倉庫用途(居室なし)	・ 空間有効利用の為、階高を高く取り壁長さ比率を下げ積載荷重にゆとりをもたせた。	-
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
・ 照明器具を全てLEDとした。 ・ 屋根上に太陽光発電設備を設置した。	・ 躯体、仕上を分別しやすい構造とした。 ・ 発泡断熱材を使用せず汚染物質含有材料の使用量を抑えた。	-

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H30-0161

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】		建物名称	株式会社インターロジサービス茨木北営業所新倉庫新築工事						
		建設地	茨木市東福井四丁目						
		用途/区分	工場						
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B+			
①	CO2削減					5			
②	みどり・ヒート アイランド対策					2			
③	建物の断熱性					評価対象外			
④	エネルギー削減					5			
⑤	自然エネルギー直接利用					—			
		再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	○	風力	—	地熱	—	—
			太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—
エネルギー消費量の報告						報告しない			
【評価項目】									
項目		評価内容				スコア	評価		
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				4.9	5		
② みどり・ヒートアイランド対策									
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				1.0	2		
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				2.0			
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				2.0			
③ 建物外皮の熱負荷抑制		CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価					-		
④ 設備システムの高効率化		CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				5.0	5		
⑤ 自然エネルギー利用		CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	—		
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない		
その他									
		技術の名称			考慮事項				
先進的技術の導入									
特に配慮した事項									